

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 2 単位
教科担当者： (A～C組：藤原) (D～F組：田原) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
使用教科書： (精選現代の国語(明治書院))

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯において国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Content describes learning objectives for modern Japanese language.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (読・聞・書・話), 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the 1st and 2nd year curriculum.

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組
教科担当者：（A組・C組：田原）（E・F組：庵原）（B・D組：千葉）（E組補周：田原）
使用教科書：（精選言語文化（明治書院））

単位数： 3 単位

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

こぼの持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。古文や漢文の基本的な知識を身に付け、読解に活用できるようにする。小説に関する表現技法や、展開を通して作品世界を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。それぞれの文章で、相手に思いを伝えるためにどのような方法が用いられているかを理解し、またどのような思いが表現されているかを理解する。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に頼り自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に貢献しようとする態度を養う。

Table with 6 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (語・文・書・読), 評価規準, 知, 思, 態, 配当数. The table is divided into sections for 1st and 2nd semesters, and further into 1st and 2nd periods for each semester. It details various units like 'Classical Japanese Prose', 'Modern Japanese Prose', 'Classical Japanese Poetry', and 'Modern Japanese Poetry', listing specific learning objectives, content, and assessment criteria.

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 2 単位
 教科担当者： (A 組：女屋 隆充) (B 組：女屋 隆充) (C 組：女屋 隆充) (D 組：女屋 隆充) (E 組：女屋 隆充) (F 組：女屋 隆充) (組：)
 使用教科書： (高等学校 公共 第一学習社)

教科 公民 の目標：
 【知識及び技能】 現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。
 【思考力、判断力、表現力等】 「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。
 【学びに向かう力、人間性等】 「スマスク端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的事象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目	公民	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校までの学習内容をもとに、2年後に成人、主権者になることを踏まえて社会に主体的に参画するために必要な概念や理論、公共的な空間における基本的原理の修得を目指す。法、政治、経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、課題解決に向かう力を育む。	持続可能な社会づくりに主体的に参画する態度、意識を醸成する。政治、経済、国際社会における今日の課題や人間の生き方に関する多面的に考察し、議論やレポート作成等を通して、社会的な合意形成を行う力を高める。	社会的な事象に向き合い、自ら「問い」や「課題」を設定する力を育む。探究学習等を通して情報活用能力や他者と協働する力を高め、社会の諸課題に関心をもち学び続ける態度、意識を涵養する。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態				配当 時数
				知	思	態	配当 時数	
1 学期	中間 考 査 ま で	A 単元 公共的な空間と人間とのかかわり 【知識及び技能】 青年期、キャリア形成の基本的事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴を自身のあり方とつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 成人、主権者に必要な学び続ける力を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期、キャリア形成についての学習事項を理解し、活用できる。 【思考・判断・表現】 青年期についての課題を、議論したり、文章にまとめたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習し、自立的に生活する大切さを自覚できる。	○	○	○	3
		A 単元 人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 倫理的な事項について、思想の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 哲学者の問題意識を学び、現代とつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な事象と結びつけ、よりよく生きる力を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 功利主義、自由と自律、現代的正義論について基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 社会的な事象における解決課題を倫理面から考察し、議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他の哲学者について自ら調べ、探究する等に取り組むことができる。	○	○	○	3
		A 単元 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 民主政治の基本原則について、理論的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の課題と関連させながら考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の形成に向け、主体的に学習する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、法の支配等の基本原則の内容と意義を理解できる。 【思考・判断・表現】 多数決の課題や個人の尊重と人権保障等について多角的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会契約説を含む歴史的経緯等について主体的に学習できる。	○	○	○	5
	定期 考 査			○	○		1	
	期 末 考 査 ま で	A 単元 法や規範の意義と役割 【知識及び技能】 法規範の意義と役割について、理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 法と基本的人権について、多面的に考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲主義や人権にかかわる基礎的理論を探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本国憲法における基本的人権と社会的意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 契約時の消費者保護等を「公正、正義」の観点から思考、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 判例や社会における法的課題を主体的に探究学習できる。	○	○	○	3
		A 単元 司法参加と政治参加 【知識及び技能】 権力分立の意義と基本事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三権の役割について考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の政治制度の比較などを主体的に学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本における司法、政治制度を理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の統治機構を「幸福、正義、公正」に照らし課題を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 判例や政策比較等を学習し、主権者になる自覚を持つことができる。	○	○	○	8
定期 考 査				○	○		1	
2 学期	中 間 考 査 ま で	A 単元 国際社会と国家主権 【知識及び技能】 国際法と国際社会の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会を「幸福、正義、公正」から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsについて現状と課題を主体的に学習できる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際法と国際連合についての基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 国際社会の歩みを学び、持続可能な国際社会について考察、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界平和や国際的な人権保障等について探究する。	○	○	○	5
		A 単元 国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 国際社会と日本の安全保障の基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会における日本の役割について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 時事問題を学び、平和や人権尊重等を探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義と安全保障の世界的な課題について理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」から国際紛争等について思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における課題を具体的に探究し、解決策等を考える。	○	○	○	5
		A 単元 雇用と労働問題 【知識及び技能】 統計資料等を活用し、労働問題の課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義社会における富の格差等の課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な経済のしくみについて考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 経済主体、企業、労働について基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 分業と交換、資源の希少性をもとに生産、分配のあり方を検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済成長とワークライフバランスの両立等について主体的に学習する。	○	○	○	5
	定期 考 査			○	○		1	
	期 末 考 査 ま で	A 単元 社会の変化と職業観 【知識及び技能】 戦後日本経済の歩みについて、概要を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「持続可能な日本経済」について考え、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本社会の構造と経済的変化について学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 戦後日本経済の変化と各々の時期の課題について整理し理解できる。 【思考・判断・表現】 技術革新や少子高齢化等を踏まえて、日本経済の未来像を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後社会の変化等の歴史的経緯や地理的要因を主体的に学ぶ。	○	○	○	5
		A 単元 市場経済の機能と限界 【知識及び技能】 市場機構と市場の失敗について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現実の取引と市場機構をつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 経済発展と環境保全等の課題を主体的に学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市場経済のしくみと限界について、基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」を実現する市場経済について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多国籍企業の動向などを調べ、経済的な課題を多角的に学ぶ。	○	○	○	6
定期 考 査				○	○		1	
3 学期	A 単元 金融、財政、社会保障 【知識及び技能】 金融、財政、社会保障の基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 3つの事項における課題を整理し、政策判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 景気変動と金融、財政、社会保障の関係を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 金融、財政、社会保障の働きと課題を整理し、理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」を実現する市場経済について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な金融、財政、社会保障について調べ、検討できる。	○	○	○	8	
								A 単元 経済のグローバル化 【知識及び技能】 国際経済の基本的なしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル経済下の日本経済のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsとつなげ、国際経済の課題を主体的に学ぶ。
	定期 考 査			○	○		1	

合計
70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

単位数： 3 単位

教科担当者： (A組：尾花) (B組：黒崎) (C組：尾花) (D組：小山) (E組：小山) (E組：黒崎) (F組：小山)

使用教科書： (数学I (数研出版))

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と式を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数と式を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 式の計算 1. 多項式 2. 多項式の加法と減法および乗法 3. 因数分解 発展 3次式の展開と因数分解 第2節 実数 4. 実数 5. 根号を含む式の計算 発展 対称式と基本対称式 発展 2重根号 第3節 1次不等式 6. 1次不等式 7. 1次不等式の利用 研究 絶対値と場合分け ・教材 教科書 (数学I (数研出版))、チャート式 基礎からの数学I (数研出版)、サクシード 数学I (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会的事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	19
	第2章 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、集合と命題を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明 発展 命題「すべてのxについてp」「あるxについてp」 ・教材 教科書 (数学I (数研出版))、チャート式 基礎からの数学I (数研出版)、サクシード 数学I (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と命題の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○	
2 学 期	第3章 2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 研究 グラフの移動 3. 2次関数の最大と最小 研究 定義域の両端が動く場合の最大 4. 2次関数の決定 第2節 2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式 ・教材 教科書 (数学I (数研出版))、チャート式 基礎からの数学I (数研出版)、サクシード 数学I (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数グラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数値の関係に着目し、日常の事象や社会的事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	第3章 2次関数 (つづき) (同上)	・指導事項 6. グラフと2次方程式 発展 放物線と直線の共有点 7. グラフと2次不等式 研究 絶対値を含む関数のグラフ ・教材 教科書 (数学I (数研出版))、チャート式 基礎からの数学I (数研出版)、サクシード 数学I (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	(同上)		○	○	○
中 間 考 査 ま た	第4章 図形と計量 【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 第1節 三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 ・教材 教科書 (数学I (数研出版))、チャート式 基礎からの数学I (数研出版)、サクシード 数学I (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会的事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 (つづき) (同上)	・指導事項 第2節 三角形への応用 (つづき) 6. 正弦定理と余弦定理の応用 発展 三角形の形状 7. 三角形の面積 発展 ヘロンの公式 8. 空間図形への応用	(同上)		○	○	○

		<p>・教材 教科書（数学Ⅰ（数研出版））、チャート式 基礎からの数学Ⅰ（数研出版）、サクシード 数学Ⅰ（数研出版） ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	○	○	○	○	
期末 考査 まで	<p>第5章 データの分析 【知識及び技能】 データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、データの分析を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの分析を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力、データの分析の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 データの分析について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項 1.データの整理 2.データの代表値 3.データの散らばりと四分位範囲 4.分散と標準偏差 研究 変量の交換 5.2つの変量の間の関係 研究 最小2乗法 6.仮説検定の考え方 発展 仮説検定と反復試行の確率 ・教材 教科書（数学Ⅰ（数研出版））、チャート式 基礎からの数学Ⅰ（数研出版）、サクシード 数学Ⅰ（数研出版） ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
3 学 期	(2学期で終了)						
	定期考査						
合計							
104							

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 2 単位
 教科担当者： (A組：信澤) (B組：松室) (C組：小山) (D組：松室) (E組：信澤) (E組：小山) (F組：松室)
 使用教科書： 数学A(数研出版)

教科 数学 の目標：
【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学A	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感 配時数				
				知	思	感	配時数	
1 学期	中間 調査 まで	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数 研究 3つの集合の和集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 円順列・重複順列 ・教材 教科書(数学A(数研出版))、チャート式 基礎からの数学I+A(数研出版)、サクシード 数学I+A(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	(同上)	○	○	○	11
	定期 調査			○	○		1	
	期末 調査 まで	第1章 場合の数と確率 (つづき) (同上)	・指導事項 第1節 場合の数 5. 組合せ 研究 重複を許して取る組合せ 第2節 確率 6. 事象と確率 7. 確率の基本性質 ・教材 教科書(数学A(数研出版))、チャート式 基礎からの数学I+A(数研出版)、サクシード 数学I+A(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	(同上)	○	○	○	11
定期 調査				○	○		1	
2 学期	中間 調査 まで	第1章 場合の数と確率 (つづき) (同上)	・指導事項 第1節 場合の数 9. 反復試行の確率 10. 条件付き確率 研究 原因の確率 11. 期待値 ・教材 教科書(数学I(数研出版))、チャート式 基礎からの数学I(数研出版)、サクシード 数学I(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	(同上)	○	○	○	8
	定期 調査				○	○		1
	期末 調査 まで	第2章 図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 第1節 平面図形 1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心、内心、重心 研究 三角形の垂心 3. チェバの定理、メネラウスの定理 研究 チェバの定理の逆、メネラウスの定理の逆 研究 三角形の辺と角 ・教材 教科書(数学A(数研出版))、チャート式 基礎からの数学I+A(数研出版)、サクシード 数学I+A(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 三角形に関する基本的な性質について理解している。 円に関する基本的な性質について理解している。 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6
定期 調査				○	○		1	
期末 調査 まで	第2章 図形の性質 (同上)	・指導事項 第1節 平面図形 (つづき) 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 方べきの定理 7. 2つの円の位置関係 8. 作図 研究 正五角形の作図 研究 図形描画ソフトを活用して作図の方針を立てる 第2節 空間図形 9. 直線と平面 10. 多面体 研究 正多面体の種類 ・教材 教科書(数学A(数研出版))、チャート式 基礎からの数学I+A(数研出版)、サクシード 数学I+A(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	(同上)	○	○	○	12	
定期 調査				○	○		1	
	第3章 数学と人間の活動 (整数の内容) 【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の	・指導事項 1. 約数と倍数 2. 最大公約数、最小公倍数 3. 最大公約数、最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 素数、素因数分解	【知識・技能】 人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 【思考・判断・表現】 数量に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 7. 素数、素因数分解					

3 学 期	<p>理解を見いだし、徹底的に考察する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>補充 補足、口頭で 補足. 互除法の原理の証明 補足. 2次の不定方程式 ・教材 教科書 (数学A (数研出版)), チャート式 基礎からの数学1+A (数研出版), サクシード 数学1+A (数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【土曜日に学習に取り組む環境】 ・人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	17	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

単位数： 2 単位

教科担当者：（ A～F組： 三島 慶睦 ）

使用教科書：（ 東京書籍 「化学基礎」（化基701） ）

教科 理科（化学）

の目標：

【知識及び技能】

自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 【知識及び技能】化学と物質について化学の特徴を理解するとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学と物質について、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学の特徴に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・身のまわりの物や製品が物質でできていることに気づく。（教科書内の写真を活用） ・身のまわりの製品には、その物質がうまく利用されていることに気づく。（一人1台端末の活用） ・それぞれの物質には性質があり、私たちはそれを利用して生活していることを理解する。	【知識・技能】化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学の特徴について、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学の特徴に関する事象・現象について主体的に関り、振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	2	
	1編 化学と人間生活 2章 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】本章で取り扱う事象について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題をいだし見通しをもって科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う事象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・2種類の物質を区別する方法を考え、実際に分離する。（一人1台端末の活用・家庭での実験） ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり、それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・元素を確認する方法に、炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。（一人1台端末の活用） ・物質が自然に広がっていく現象を拡散ということ、また、その現象は熱運動によることを理解する。	【知識・技能】化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章に関する事象・現象について、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章に関する事象・現象について主体的に関わり、振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5	
	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質を構成する粒子が原子であることに気づく。 ・陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ・同じ原子であっても質量数の異なるものがあることに気づく。（一人1台端末の活用） ・電子配置で電子殻への電子の収まり方を知る。 ・電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。（教科書内の写真を活用） ・元素の周期表について確率論。元素の性質の規則性について考察する。（一人1台端末の活用）	【知識・技能】物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】原子の構造、電子配置と周期表について、問題をいだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】原子の構造、電子配置と周期表に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5	
	定期考査	中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○	○	1	
2 学 期	2編 物質の構成 2章 化学結合 【知識及び技能】物質と化学結合について、各結合のこを理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について、各結合について違いを見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】この章で学ぶ事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度	・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオンからなる物質の組成式およびイオン結晶の性質を理解する。 ・分子の物質を知る。（一人1台端末の活用） ・共有結合の形成、構造式について理解する。 ・金属は、金属元素の原子が規則正しく配列してきた結晶であることを知る。 ・周期表の分類と結合の種類との間、どのような関係性が見られるかを考える。（一人1台端末の活用）	【知識・技能】物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】各結合について、違い等を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】各結合に関する事象・現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査	中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○	○	1	
	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 【知識及び技能】物質質量、化学反応式について理解するとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質質量、化学反応式について、観察・実験などを通して、物質質量、化学反応式を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質質量、化学反応式に主体的に関わり科学的に探究する態度を養う。	・原子の質量を、相対質量をつかって表す方法について理解する。 ・物質とその単位(mol)の関係、さらに原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係がわかり、それらの単位変換を理解する。（一人1台端末の活用） ・モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。 ・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。（実験） ・化学反応式の係数が表している量的関係を考える。	【知識・技能】物質質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質質量、化学反応式について、科学的に探究しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13	
	3編 物質の変化 2章 酸と塩基（前半） 【知識及び技能】酸・塩基と中和のこを理解するとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸と塩基の性質について理解する。 ・アレキシアスの酸・塩基の定義を理解する。 ・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。 ・酸と塩基の価数を理解し、電離度を比較して酸と塩基の強弱の違いを考察する。	【知識・技能】酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について、問題をいだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3	
定期考査	中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○	○	1		
3 学 期	3編 物質の変化 2章 酸と塩基（後半） 【知識及び技能】酸・塩基と中和のこを理解するとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度の大小で表せることを知る。 ・水溶液の水素イオン濃度とpHの標記の関係性を理解する。（一人1台端末の活用） ・中和の条件は、酸から生じる水素イオンの物質質量と塩基から生じる水酸化物イオンの物質質量が等しくなることと理解する。 ・中和滴定に用いる器具の使い方がわかり、中和滴定の正確な操作を理解する。（実験）	【知識・技能】酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について、問題をいだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査	中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○	○	1	
	3編 物質の変化 3章 酸化還元反応 【知識及び技能】酸化と還元のことを理解するとともに、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸化と還元に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸化と還元が電子の授受によって統一的に説明できることを理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ、この反応の量的関係を理解する。 ・実験観察を通して金属の陽イオンへのなりやすさを比較し、金属の反応性に違いがあることを知る。 ・実験観察を通して、金属のイオン化傾向と電流の流れ向きを比較し関係性を考える。	【知識・技能】化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の本質的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について、問題をいだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14	
	3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界 【知識及び技能】化学が拓く世界のことを理解するとともに、実験などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】見通しをもって実験を行い、人間生活と関連付けて、考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学が拓く世界に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	【知識・技能】科学的に探究するために必要な観察などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学が拓く世界について、問題をいだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学が拓く世界について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3	
定期考査	学年末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○	○	1		
							合計	70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組 単位数： 2 単位
 教科担当者： (A組：柳屋・渡辺・成田) (B組：柳屋・渡辺・成田) (C組：柳屋・渡辺・成田) (D組：柳屋・渡辺・成田) (E組：柳屋・渡辺・成田) (F組：柳屋・渡辺・成田)
 使用教科書： (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会的課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育（男子）	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようになったか。	○	○	○	3
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	陸上競技 短距離・ハードル 【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	6
	定期考査						
	陸上競技 短距離・ハードル 【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	6
	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとするこ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	6
	定期考査						
	バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	13
	定期考査						
2 学 期	ソフトボールか卓球の選択 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁、守備ができるようになる。(ソフトボール) 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。(卓球) 【思考力、判断力、表現力等】 守備における自己やチームの課題を発見し、解決法を考えたり伝えあったりすること。(ソフトボール) 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。(卓球)	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁、守備ができるようになったか。(ソフトボール) 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになったか。(卓球) 【思考力、判断力、表現力等】 守備における自己やチームの課題を発見し、解決法を考えたり伝えあえたか。(ソフトボール) 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。(卓球) 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	13
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査						

	定期考查						
--	------	--	--	--	--	--	--

3 学 期	サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	8	
	長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	8	
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2	
	定期考査							
							合計	70

|

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 2 単位
 教科担当者： (A組：柳屋・渡辺・成田) (B組：柳屋・渡辺・成田) (C組：柳屋・渡辺・成田) (D組：柳屋・渡辺・成田) (E組：柳屋・渡辺・成田) (F組：柳屋・渡辺・成田)
 使用教科書： (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育（女子）	の目標：
		【知識及び技能】
		【思考力、判断力、表現力等】
		【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1	
	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようになったか。	○	○	○	3	
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2	
	バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	6	
	定期考査							
	サッカー	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	6	
	水泳	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	○	○	○	6	
	定期考査							
	中 間 考 査 ま で	陸上競技 短距離・ハードル 【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	13
		A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	

2 学 期	定期考査							
	期末考査まで	<p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。</p>	○	○	○	13
		<p>体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。</p>	○	○	○	2
定期考査								
3 学 期		<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。</p>	○	○	○	8
		<p>長距離走</p> <p>【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。</p>	○	○	○	8
		<p>体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。</p>	○	○	○	2
	定期考査							
合計								
70								

|

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

単位数： 1 単位

教科担当者： (A・B組：青田) (C・D組：成田) (E・F組：柳屋) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会的課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	保健	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、赤々しく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題について、理解できる。また、健康の成立には、主体要因と環境要因が影響しあっていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、健康水準や疾病構造の変化に関するデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 国民の健康課題について、理解できる。また、健康の成立には、主体要因と環境要因が影響しあっていることを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、健康水準や疾病構造の変化に関するデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	生活習慣病 【知識及び技能】 生活習慣病について、種類や要因、予防について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題である生活習慣病について、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 生活習慣病について、種類や要因、予防について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題である生活習慣病について、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	定期考査						
	運動・食事・休養 【知識及び技能】 運動、食事、休養について、健康との関りを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動、食事、休養について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動、食事、休養について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 運動、食事、休養について、健康との関りを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 運動、食事、休養について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 運動、食事、休養について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	2
	喫煙・飲酒・薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学期	喫煙・飲酒・薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	4
	精神疾患 【知識及び技能】 精神疾患について、個人や社会における課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患について、予防や対策について整理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 精神疾患について、個人や社会における課題について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患について、予防や対策について整理することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	現代の感染症 【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行の違いがあること、予防や対策について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行の違いがあること、予防や対策について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1

	定期考査								
期末考査まで	<p>現代の感染症</p> <p>【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行の違いがあること、予防や対策について理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行の違いがあること、予防や対策について理解できたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようになったか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。</p>	○	○	○	3		
	<p>健康に関する意思決定・行動</p> <p>【知識及び技能】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択を理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択について考えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択を理解できたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択について考えることができるようになったか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。</p>	○	○	○	2		
	定期考査			○	○		1		
3学期	<p>安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりのためには、環境の整備とそれに合った個人の取組が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりのために必要な、責任ある行動とは何かを考えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 安全な社会づくりのためには、環境の整備とそれに合った個人の取組が必要であることを理解できたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりのために必要な、責任ある行動とは何かを考えられるようになったか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。</p>	○	○	○	4		
	<p>応急手当</p> <p>【知識及び技能】 適切で迅速な応急手当ができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な応急手当を選択することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 適切で迅速な応急手当ができる知識を身に付けたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な応急手当を選択することができるようになったか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。</p>	○	○	○	4		
	定期考査			○	○		1		
							合計	35	

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 4 単位
 教科担当者： (A/C/D組：加藤研) (B/E/F組：仁ノ平耕章) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (Heartening English Communication I、SKYWARD、UNITE STAGE 2、英文速読ドリル 10minutes、Listening Laboratory、速読英単語入門編)

教科 外国語 の目標：
 【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深める。
 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

科目 English Communication I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進出単語、熟語、重要表現、関連表現、文法を理解し、本文の内容を正確に読み取り、聞き取る。	本文の内容の要約、本文に関連したテーマについて読んだり、書いたりする。本文の内容に関する自分の意見を表現できる。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとする。学習に見通しを持ち学ぼうとする。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話(や)	話(発)	書					
1 学期	中間 考査 まで	Heartening Lesson 1-2 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Heartening Lesson 1-2 【単語】 速読英単語 1-300 【リスニング】 Listening Laboratory 1-4 【速読】 英文速読ドリル 1-5	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		SKYWARD Unit 1-5 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 SKYWARD Unit 1-4 ・一人1台端末の活用 外国人講師のよるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	3
		UNITE STAGE 2 Lesson 1-3 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 UNITE STAGE 2 Lesson 1-3 ・一人1台端末の活用、注意深い読解 等									○
	定期考査	中間考査	○	○			○	○	○	○	1	
	期末 考査 まで	Heartening Lesson 3-4 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Heartening Lesson 3-4 【単語】 速読英単語 301-600 【リスニング】 Listening Laboratory 5-8 【速読】 英文速読ドリル 6-10	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		SKYWARD Unit 5-8 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 SKYWARD Unit 5-8 ・一人1台端末の活用 外国人講師のよるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	3
定期考査		期末考査	○	○			○	○	○	○	1	
2 学期	中間 考査 まで	Heartening Lesson 5-6 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Heartening Lesson 5-6 【単語】 速読英単語 600-900 【リスニング】 Listening Laboratory 9-12 【速読】 英文速読ドリル 11-15	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		SKYWARD Unit 9-12 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 SKYWARD Unit 9-12 ・一人1台端末の活用 外国人講師のよるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	5
		UNITE STAGE 2 Lesson 7-9 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 UNITE STAGE 2 Lesson 7-9 ・一人1台端末の活用、注意深い読解 等									○
	定期考査	中間考査	○	○			○	○	○	○	1	
	期末 考査 まで	Heartening Lesson 7-8 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Heartening Lesson 7-8 【単語】 速読英単語 901-1200 【リスニング】 Listening Laboratory 13-16 【速読】 英文速読ドリル 16-20	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		SKYWARD Unit 13-16 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 SKYWARD Unit 13-16 ・一人1台端末の活用 外国人講師のよるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査		期末考査	○	○			○	○	○	○	1	
3 学期	中間 考査 まで	Heartening Lesson 9-10 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Heartening Lesson 9-10 【単語】 速読英単語 1201-1450 【リスニング】 Listening Laboratory 17-20 【速読】 英文速読ドリル 21-25	○	○	○	○	○	○	○	○	22
		SKYWARD Unit 17-20 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 SKYWARD Unit 17-20 ・一人1台端末の活用 外国人講師のよるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	定期考査	学年末考査	○	○			○	○	○	○	1	

対象学年組: 第 1 学年 A 組~ F 組 単位数: 2 単位
教科担当者: (A組: 関口) (B組: 加藤) (C組: 仁ノ平) (D組: 仁ノ平) (E組: 加藤) (F組: 関口) (組:)
使用教科書: (Genius English Logic and Expression I Genius English Grammar in 27 ジーニアス総合英語第2版)

教科 外国語 の目標:
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】 場や状況などに応じて様々な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり表現したり伝え合ったりする。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションをとろうとする。

Table with 3 columns: 科目 (論理・表現I), 目標, 学習した語彙・文法・構文を正しく使って基礎的な英文を書いたり話したりする力を養う。 Englishを通じて積極的にコミュニケーションを図り、学習した語彙や文法を基盤として論理の展開や表現を工夫しながら自分の考えを伝えようとする力を養う。

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (聞, 読, 話(ヤ), 話(発), 書), 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. Rows include 1学期 (A単元: 文の種類・文型, 時制, 完了形) and 2学期 (A単元: 助動詞, 動名詞, 分詞, 比較, 関係詞, 仮定法).

3 学 期	A 単元 「名詞構文・無生物主語」 【知識及び技能】 名詞構文・無生物主語の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 名詞構文・無生物主語を正しく使って自分や友だちのこ とを話す。 【学びに向かう力、人間性等】 名詞構文・無生物主語を適切に使って自他のことを表現	・指導事項 「名詞構文・無生物主語」 ・教材 Genius Logic and Expression120 Genius English Grammar in 27 Option 16 ・一人1台端末の活用 Genius ジーニアス総合英語等 授業の内外で利点を活かして学習効果を高める。	○	○	○	○	○	○	○	7
	定期考査			○			○			1
合計										70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

単位数： 2 単位

教科担当者： A下組：関崎瑛

使用教科書： (情報Ⅰ Step Forward! (東京書籍))

教科 情報科

の目標： 情報と情報技術及びこれらを活用して問題の発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。

【知識及び技能】

様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 情報Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期 中間 期末 定期 考査 考査 考査	A 単元 情報とメディアの特性 【知識及び技能】 情報とそのメディアの特性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じたメディアの選択を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用するとともに、情報に主体的に参画する態度を養う	・指導事項 情報とメディアの特性 ・教材 教科書 Classi Note ・一人1台端末の活用 等 Classi Noteで考えを収集し、クラス内で共有する。	【知識・技能】 情報とメディアの特性について理解しているか 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じたメディアを考えて、自分の情報を適切な表現方法で表現しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報とメディアの特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切に活用しようとしている。	○	○		1
	A 単元 問題解決 【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題解決の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて情報と情報技術を適切に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。	・指導事項 問題を解決する方法 ・教材 教科書 MicrosoftForms MicrosoftWhiteboard ・一人1台端末の活用 等 端末を活用したブレインストーミングの実践、Form回答、調べ学習	【知識・技能】 情報と情報技術を活用した問題解決の技能を身につけているか。問題の解決の試みについて理解しているか。 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて情報と情報技術を適切に活用して問題を発見・解決するためのアイデアについて考えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	2
	A 単元 著作権・個人情報と情報モラル・情報セキュリティ 【知識及び技能】 著作権・個人情報についてとその保護について理解している。また、悪用した犯罪行為について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規やマナー、個人の責任について考える。	・指導事項 知的財産権・個人情報の取り扱い・情報モラル・情報セキュリティ ・教材 教科書・情報最新トピック集・パーフェクトガイド情報・ポイント整理情報モラル ・一人1台端末の活用 等 Classi Note Teamsでの双方のやり取り	【知識・技能】 著作権・個人情報についてとその保護について理解している。また、悪用した犯罪行為について理解している。 【思考・判断・表現】 情報に関する法規やマナー、個人の責任について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○		4
定期考査			○	○		1	
1 学期 期末 定期 考査 考査	A 単元 メディアと情報のデジタル化 【知識及び技能】 コミュニケーションの手段の発達について理解する。アナログとデジタルの違いについて理解する。可逆圧縮と非可逆圧縮について理解する。データ量の計算について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考える。デジタル化や圧縮のしくみを説明する。メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 メディアの歴史と発展・数値の表現・文字、画像、動画のデジタル化・ネットワークコミュニケーションの取り方 ・教材 教科書 ベストフィット Life is Tech ・一人1台端末の活用 等 Classi Note、Teamsの活用	【知識・技能】 コミュニケーションの手段の発達について理解している。アナログとデジタルの違いについて理解している。可逆圧縮と非可逆圧縮について理解している。データ量の計算について理解している。 【思考・判断・表現】 アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。デジタル化や圧縮のしくみを説明できる。メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアが発達したことにより、生じた課題について主体的に考えようとしている。	○	○		7
	A 単元 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの意味について理解する。情報デザインの作業手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アートと情報デザインの違いを考える。情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題を自分事として捉え、積極的に取り組む。	・指導事項 情報デザイン・コンテンツ設計・色の表現 ・教材 教科書・Officeソフト・Life is Tech ・一人1台端末の活用 等 HTML作成、情報デザイン(ビクトグラム等)の作成、Life is Tech	【知識・技能】 情報デザインの意味について理解している。情報デザインの作業手順について理解している。 【思考・判断・表現】 アートと情報デザインの違いを考えることができる。情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題を自分事として捉え、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間 期末 定期 考査 考査	A 単元 コンピュータの構成と処理の仕組み 【知識及び技能】 CPUのしくみとその役割について理解する。ソフトウェアの種類と、OSの役割について理解する。各論理回路のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成できる。より良い性能の製品を選ぶ能力が身につく。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータのスペックを調べる課題に積極的に取り組んでいる。スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動に積極的に取り組んでいる。	・指導事項 コンピュータの構成、論理回路、処理の仕組み ・教材 教科書、ベストフィット、パーフェクトガイド情報 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習、Classi Note、Office	【知識・技能】 CPUのしくみとその役割について理解している。ソフトウェアの種類と、OSの役割について理解している。各論理回路のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成できる。より良い性能の製品を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータのスペックを調べる課題に積極的に取り組もうとしている。スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	A 単元 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解する。アルゴリズムの基本構造について理解する。プログラムの構成要素である変数、データ型、演算の意味や種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本構造を組み合わせて、アルゴリズムを構造化する。演算例をもとにして、プログラミングの構成要素について考え、正しい結果を出力する。 【学びに向かう力、人間性等】 処理対象を自分で考え、アルゴリズムを構造化、可視化しようとする。	・指導事項 アルゴリズム、プログラムの仕組み、プログラムの応用 ・教材 教科書、Life is Tech ・一人1台端末の活用 等 Classi Note、Teams	【知識・技能】 アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解している。アルゴリズムの基本構造について理解している。プログラムの構成要素である変数、データ型、演算の意味や種類を理解している。 【思考・判断・表現】 基本構造を組み合わせて、アルゴリズムを構造化することができる。演算例をもとにして、プログラミングの構成要素について考え、正しい結果を出力することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理対象を自分で考え、アルゴリズムを構造化、可視化しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期 期末 定期 考査 考査	A 単元 モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化とシミュレーションの手順について理解する。モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じて、適切なモデルを選択し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 問題のモデル化、モデル化の活用、シミュレーションとその活用 ・教材 教科書、Excel、Life is Tech、パーフェクトガイド情報 ・一人1台端末の活用 等 Teams、Office	【知識・技能】 モデル化とシミュレーションの手順について理解している。モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 場面に応じて、適切なモデルを選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を解決するためのモデル化に、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	A 単元 インターネットと情報システム 【知識及び技能】 機器同士を情報通信ネットワークで接続するしくみを理解する。TCPとUDP、HTTPの役割について理解する。ドメイン名とDNS、電子メールのプロトコルについて理解する。認証技術、OSやアプリのアップデートの必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公衆無線LANやWebブラウザの危険を予測でき、安全・安心に利用する。場合によっては利用しない選択をする。 【学びに向かう力、人間性等】 情報セキュリティの科学的な理解に努め、情報通信ネットワークを適切に活用しようとする。	・指導事項 情報通信ネットワーク、インターネットの利用、情報システム ・教材 教科書、ベストフィット ・一人1台端末の活用 等 Classi Note、Teams	【知識・技能】 機器同士を情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。TCPとUDP、HTTPの役割について理解している。ドメイン名とDNS、電子メールのプロトコルについて理解している。認証技術、OSやアプリのアップデートの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 公衆無線LANやWebブラウザの危険を予測でき、安全・安心に利用する。場合によっては利用しない選択ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティの科学的な理解に努め、情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。	○	○		6
3 学期 中間 期末 定期 考査 考査	A 単元 データの活用と分析 【知識及び技能】 データベースについて理解する。情報システムとデータベースの関係について理解する。データ分析の手順について理解する。データの収集についてさまざまな方法があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集を行う。表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 データの収集や整理に粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとする。	・指導事項 データの収集と管理、データの分析 ・教材 教科書、パーフェクトガイド情報 ・一人1台端末の活用 等 Office、Teams、Classi Note	【知識・技能】 データベースについて理解している。情報システムとデータベースの関係について理解している。データ分析の手順について理解している。データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集や整理に粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組
教科担当者： 吉野 佳代子
使用教科書： Mousa 1 (教育芸術社)

単位数： 2 単位

教科 芸術(音楽) の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を養う。
【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよきや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. It details learning objectives for music theory, practical skills, and attitudes.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 表現 (歌, 器, 創), 鑑賞, 評価規準, 知, 思, 感, 配当時間. It lists 12 units covering topics like songwriting, guitar, and music theory.

学期	<p>A表現・B鑑賞 ミュージカル</p> <p>【知識及び技能】 曲想や歌詞、音楽の構造、他の芸術との関わりについて理解し、歌唱で表現する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、イメージをもって歌唱表現をする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う</p>	<p>・指導事項 ミュージカルの文化的・歴史的背景、歌詞と曲想や他の芸術との関わり</p> <p>・教材 教科書、学習プリント、DVD ・一人1台端末の活用 等</p> <p>調べ学習、参考演奏鑑賞、予習・復習等</p>	○	○	<p>【知識・技能】 曲想や歌詞、音楽の構造を理解し、イメージをもって歌唱で表現している</p> <p>【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながらその関わりについて考え、表現意図を持って音楽をつくっている</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞、他の芸術との関わりについて関心をもち、主体的・協働的に鑑賞・歌唱の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	4	
	定期考査	授業内試験・発表				○	○		1	
									合計	70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

単位数： 2 単位

教科担当者： (A, D, E, F 組：川口)
 使用教科書： (高校生の美術 I)

教科 芸術(美術) の目標：
 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目	美術 I	目標：
		【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	感	配当 時数	
			絵	字	映							
1 学期	【知識及び技能】 美術作品における造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風を自分なりに捉え、絵と文で表すことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて見方を広げ、創造的に表現の工夫などについて見方を深めることができるようにする。	・指導事項 図版の模写、作品解説と共に自分の感想を一枚の用紙にまとめて発表する。他者の発表を聞き、それぞれの見方や考え方を味わう。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等 図版の拡大。作品についての情報検索。	○			○	【知識・技能】 美術作品における造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風を自分なりに捉え、絵と文で表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】					4
	【知識及び技能】 形、明暗、質感などの効果、モチーフの構造などを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものの特徴や動きなどを基に、形、明暗、質感などの効果や動きなどを捉え、構図を練ったり、鑑賞したりする。	・指導事項 鉛筆で10段階以上の明暗の階調を表現する。平面上に基本形態を立体的に表現する。目的に応じた構図を採用する。モチーフの要素、動きを挙げ、よく観察して鉛筆で写真的に描写する。正確な比率や形態、明暗や質感を探索し表現しようとする。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等	○			○	【知識・技能】 形、明暗、質感などの効果、モチーフの構造などを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 【思考・判断・表現】 身近なものの特徴や動きなどを基に、形、明暗、質感などの効果や動きなどを捉え、構図を練ったり、鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なものの特徴や構造を捉えて表す創造活動に、主体的に取					7
	定期考査	作品提出、発表等										1
2 学期	A 表現 平面構成 【知識及び技能】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして、計画を基に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさを基に、構成などの効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞したりする。	・指導事項 画材の特徴、色彩の基礎を理解する。色彩と形態を用いてイメージを表現する。造形秩序（バランス、リズムなど）、トーンと色彩感情を意識して配色計画を立てる。計画に基づいてアクリル絵の具で目的の色を作り、均一に塗り分ける。全員の作品を鑑賞し、多様なアイデアに触れ、デザインや抽象表現への理解を深める。		○		○	【知識・技能】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして、計画を基に表している。 【思考・判断・表現】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさを基に、構成などの効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】					11
	定期考査	作品提出、発表等									1	
	B 鑑賞 西洋美術史（17世紀オランダ絵画） 【知識及び技能】 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係について理解する。全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 時代背景、美術文化の継承と創造について考える。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係などから美術史を概観し、絵画制作のテーマ設定について理解を深める。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、スライド ・一人 1 台端末の活用 等 鑑賞の補助				○	【知識・技能】 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係について理解している。全体のイメージや作風、様式などを捉えている。 【思考・判断・表現】 時代背景、美術文化の継承と創造について考え、美術作品の見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 古典作品のよさや美しさ、位置付けなどを鑑賞する創造活動					2
中間考査まで	A 表現 静物画 【知識及び技能】 風景の中の空間、モチーフの形や色彩、全体の明暗やイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形や色彩、構図などの効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞したりする。	・指導事項 古典絵画技法に触れ、設計図が必要であることを理解する。モチーフに応じた科学的観察や構造的な理解をする。よく観察・計測して全体感やモチーフ間の大きさや体積の比例関係、大まかな明暗の階調を捉える。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等	○			○	【知識・技能】 風景の中の空間、モチーフの形や色彩、全体の明暗やイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 モチーフの形や色彩、構図などの効果や美しさを捉え、構図を練っている。静物画の見方や捉え方を深めて鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】					11
定期考査	作品提出、発表等										1	
3 学期	A 表現 静物画 【知識及び技能】 風景の中の空間、モチーフの形や色彩、全体の明暗やイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形や色彩、構図などの効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞したりする。	・指導事項 絵具を重ねることによって色彩が響きあうことを体感する。固有色の調色などに努め、アクリル絵の具での写実表現に挑戦する。客観的に自己と他者の作品を鑑賞し、絵画表現の理解を深める。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等 鑑賞の補助	○			○	【知識・技能】 風景の中の空間、モチーフの形や色彩、全体の明暗やイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 モチーフの形や色彩、構図などの効果や美しさを捉え、構図を練っている。静物画の見方や捉え方を深めて鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】					4
	定期考査	作品提出、発表等									1	
	A 表現 様々な絵の具表現 モダンテクニック 【知識及び技能】 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解する。滲み、かすれなど様々な描画技法を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】 モダンテクニックの特性を基に、五感を表現する効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞したりする。	・指導事項 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解する。滲み、かすれなど様々な描画技法を体験する。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等 鑑賞の補助	○	○		○	【知識・技能】 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解し、様々な描画技法を生かして表している。 【思考・判断・表現】 モダンテクニックの特性を基に、五感を表現する効果や美しさを捉え、構図を練っている。創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】					9
定期考査	作品提出、発表等										1	
3 学期	A 表現 超現実主義的絵画空間を創る 【知識及び技能】 具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、コラージュ技法を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のテーマを伝えるための形や色彩、配置、組み合わせなどの効果や美しさを捉え、構図を練ったり鑑賞したりする。	・指導事項 表現するテーマを各自が設定する。コラージュの手法、レイアウトについて理解する。テーマに合わせたコラージュ素材を収集し、制作に生かす。テーマを掘り下げ、モダンテクニックなども利用して表現を追求する。 ・教材 教科書（高校生の美術 I）、画材一式 ・一人 1 台端末の活用 等	○			○	【知識・技能】 具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、コラージュ技法を生かして表している。 【思考・判断・表現】 自分のテーマを伝えるための形や色彩、配置、組み合わせなどの効果や美しさを捉え、構図を練っている。創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。					14
	B 鑑賞 映像メディア表現 【知識及び技能】 光や動きを生かした映像の効果、美しさや全体のイメージなどを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考える。	・指導事項 ビデオアートなどの作品を鑑賞し、映像表現の特質や良さを味わう。現代アートと社会の関わりについての理解を深め、過去から現代のテクノロジーとの関係や未来の表現を考え、一年間の振り返りを行う。 ・教材 教科書（高校生の美術 I） ・一人 1 台端末の活用 等				○	【知識・技能】 形や色彩、光、空間、動きなどの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、映像作品の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。					3
	定期考査	作品提出、発表等									1	